

令和4年度 冬季一般入学者選抜試験（3年コース）

小論文試験問題

注意事項

1. 開始の合図があるまで、開かないこと。
2. この問題冊子は7枚綴り、問題は片面に印刷されている。
3. この問題冊子は持ち帰ること。
4. 解答用紙は必ず提出すること。
5. この試験の問題は、ただ1つ特定の正解が存在することを前提とするものではない。また、解答者の思想・信条を問うものではない。

解答記入上の注意

1. 解答は、黒、青、ブルーブラックのボールペン（プラスチック製消しゴム等で消せないもの）又は万年筆で記入しなさい。
2. 解答は横書きにして、原則としてマス目に1字記入しなさい。
3. 加筆・訂正・削除は、その記入方法も含めて自由とする。ただし、修正液・消しゴムなどを使用してはならない。
4. 加筆・訂正・削除をした場合は、それらを含めて、完成後の答案が字数の制限内に収まるようにしなさい。
5. 読みやすい答案となるよう心掛けなさい。

問 題

次の文章は、樋口陽一『リベラル・デモクラシーの現在』(岩波新書、2019年)から抜粋した文章である。これを読んで、以下の問いに解答しなさい。

(〔問1〕〔問2〕〔問3〕〔問4〕の配点割合は、2:2:3.5:2.5)。

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

著作権法により公開していません

〔問１〕

下線部①「洋才」につき、この文章ではどのような内容をもつ用語として用いられているか。文中の言葉を使いつつ２００字以上３５０字以内で説明しなさい。

〔問２〕

下線部②「洋魂」につき、この文章ではどのような内容をもつ用語として用いられているか。文中の言葉を使いつつ、「和魂」とも対比しながら、２００字以上３５０字以内で説明しなさい。

〔問３〕

下線部③「それが社会にすっぽりと受け入れられてはいないからだという事実」は、和魂の根本にある醇風美俗との関係で、現代日本社会において例えばどのような場面で現れているか。５００字以上８００字以内で説明しなさい。

〔問４〕

問３であなたが指摘した現代日本社会の問題に対して、あなたが法曹の立場ならどのような役割を果たせる(果たすべき)と考えるか。文章の趣旨を踏まえつつ、３５０字以上５００字以内で解答しなさい。

【解答作成上の留意点】

- I 本問は、解答者の思想や信条を問おうとするものではない。また、法知識の有無を問おうとするものでもない。
- II 〔問１〕〔問２〕〔問３〕〔問４〕は、それぞれ独立のものとみなして採点する。必要な場合には、他の解答欄に記述したことで繰り返して記述しなさい。

【出題趣旨】

〔問1〕は、長文読解力および表現力を問う問題である。この文章において「洋才」という語は、やや多義的に用いられている。文脈に即してその内容を正確に把握しつつ、規定の文字数で簡潔に表現する能力が要求される。

〔問2〕も、長文読解力および表現力を問う問題である。この文章において「洋魂」という語は、最後の方で解き明かしが行われているが、そこに至るまでの過程で随所に現れている。「和魂」との対比でその内容を理解し、規定の文字数で論理的に説明してもらいたい。

〔問3〕は、我が国の「醇風美俗」とされるものとの対比で「個人」という観念が十分に日本社会で受け入れられていないさまを、時事問題を踏まえつつ説得的に説明してもらうことを意図している。

〔問4〕は、〔問3〕で分析した現代日本社会の問題に関し、法曹を目指す立場の視点から、具体的な対処方法を思考し、的確に表現する能力を評価するものである。問題文の趣旨と無関係の問題を採り上げ、抽象的な対応を提示するにとどまる答案は、高評価につながるものではない。